

「マスク会食」専用ホルダー

会話時の飛沫を抑えて楽しい食事を

【北原産業】



代表取締役
北原忠氏

スクが扇面に、マスク・モグ本体が柄や骨に相当する。食事の席では、それまでつけていた不織布マスクをマスク・モグに取り付け、

組み立て方法は簡単で、製品にも使用方法が記載されている。付属品として用意しているスタンドと合わせて使うことで、会食中のマスクホルダーとしても活用できる。

会話をする際に口元を隠すようにマスク・モグを持つことで、会話時の飛沫を抑えることができる。

製品は特許出願中・商標出願中・意匠出願中。基本サイズは外寸294mm×160mm、1袋に50枚・1ケース600枚となる。別注

食品容器製造大手の北原産業（岡山県倉敷市）は、新商品のマスク会食用ホルダー「マスク・モグ」を開発。4月30日に発売した。

マスク・モグは紙製で、不織布マスクを挟み込むように装着し組み立てることで、うちののような形状になる。うちわに例えると、マ



▲口元を隠して話す

対応として、3000枚からオフセット印刷によるオリジナルデザインの制作にも対応する。